



城南家保ニュースR6. 9月号

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

EMAIL : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

R7.2月から定期報告等の手続きが電子化されます

全家畜においてR7年2月の家畜伝染病予防法に基づく家畜の飼養に係る定期報告から、家きんにおいては先行してR6年10月の飼養衛生管理基準遵守状況の一斉点検から電子申請が可能になります。ただし、これまでどおり紙での提出も可能です。

<今後電子化される手続き>

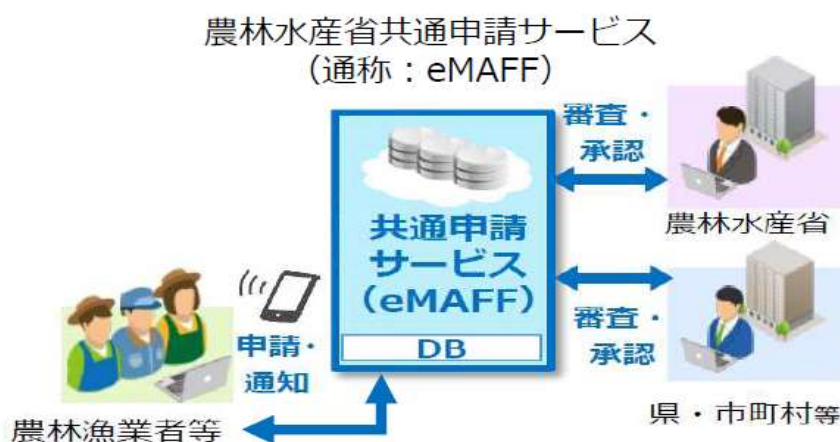
R6.10月～ 家きんの自己点検※

R7.2月～ 全家畜の定期報告ほか※

R7.5月～ 豚等の自己点検※



電子申請をする場合は事前に eMAFF（農林水産省共通申請サービス）IDの取得が必要となります。そのためにまずデジタル庁が発行する g BizID プライムを以下の要領で取得後に eMAFF ログイン画面にて gBizID（メールアドレス）とパスワードを入力すると、eMAFF ID が自動生成され、eMAFF や飼養衛生ポータル（10月から利用可能のアプリ）において農場台帳や定期報告等を申請できます。



※の手続きはスマホアプリの飼養衛生ポータルからも報告できます。
(右の画像は開発段階の飼養衛生ポータル画面で、実際の画面と異なる可能性があります)



g BizID プライム取得方法（左：郵送による申請、右：オンラインによる申請）

 発行まで1週間程度
書類郵送申請

お申込みいただける方
個人事業主・法人の代表者

お手続きに必要なもの
gBizIDの申請書と必要書類を郵送の上、
審査を経てアカウント登録を行います。

 個人事業主の方は
印鑑登録証明書

 法人の方は
印鑑証明書

 登録印

+

 申請用端末（PC等）
とメールアドレス

 SMS受信用の
スマートフォンor携帯電話

 即時発行
オンライン申請

お申込みいただける方
個人事業主の方

お手続きに必要なもの
マイナンバーカードとスマートフォンを
ご用意いただきオンラインにて申請を行います。

 マイナンバーカード

+

 申請用端末（PC等）
とメールアドレス

 カード読み取り・
SMS受信用のスマートフォン
gBizIDアプリ

【eMAFF ID 取得の流れはこちらへ】



【g BizID ホームページはこちらへ】



＜電子化によるメリット＞

◆ネット環境があればどこからでも提出が可能

ネットに接続できる端末（パソコン、スマホ等）があれば役場の窓口への持参や郵送の手間がなくなります。

◆過去の履歴を引用して報告書が作成可能

電子化後はデータが保存されるので、履歴を引用することで次回からの入力が省けます。

◆報告内容に基づいた、それぞれの農場にあった指導やアドバイスが受けられる

ワクチン接種完了後の韓国でランピースキン病が確認されました。

ランピースキン病 (LSD) は元々アフリカや中東で牛に発生する病気でしたが、2019年6月の中国での発生以降、台湾、東アジア、東南アジア地域において感染が拡大しています。

ランピースキン病の発生報告 (2024年8月14日時点)



その中でも韓国では昨年10月にLSDが初めて確認された後、韓国国内のすべての飼養牛にワクチン接種が実施され、同年11月にすべての牛にワクチン接種が完了し、今年4月から2回目のLSDワクチン接種が始まっていたところでした。今回8月12日に公表されたLSD発生は全頭ワクチン接種完了後の、初めてのLSD発生となります。

そこで、アジア地域からの媒介節足動物の飛来によりランピースキン病が国内へ侵入する可能性もあることから、毎日の健康観察を行い、本病を疑う臨床症状を観察した場合には、速やかに家畜保健衛生所へ届出るようお願いいたします。また、**本病を媒介する節足動物（主にハエ、カ、ヌカカ、ダニ）駆除等予防対策を実施**してください。

★ランピースキン病とは

牛の急性・亜急性ウイルス性伝染病。届出伝染病。

病原体：ランピースキン病ウイルス

(ボックスウイルス科カプリボックス属)

症状：皮膚の結節や水腫、発熱、抑うつ、リンパ節の腫大、粘膜の結節、鼻や目の出血、乳汁の減少、脚の腫れ、跛行などで死亡率1～5%。

泌乳ピーク期の乳牛や子牛で症状が重い。

伝播：ハエ、カ、ダニなどのベクターによって機械的に伝播。

また、汚染された飼料、水、器具を介して伝播。

予防・対策：海外では主に感染地域の牛の移動制限、症状のある牛の淘汰及びワクチン接種。



農水省HPより

「鶏肉の生産衛生管理ハンドブック-肉用鶏農場-」を活用し、 生産農場における食中毒菌の侵入やまん延を防ぎましょう！



7月～9月は細菌性食中毒が増加する傾向にあり、この時期は特にフードチェーン（生産・加工・流通・販売・消費）の各段階における対策が重要となりますが、生産段階における衛生管理の取組についてもより一層の強化が求められます。そこで肉用鶏農場や鶏舎へのカンピロバクター菌等の食中毒菌の侵入・まん延を防止するための対策をまとめた「鶏肉の生産衛生管理ハンドブック-肉用鶏農場・生産者編-」及び「鶏肉の生産衛生管理ハンドブック（参考資料）-肉用鶏農場・指導者編-」を活用し、日々の衛生管理の徹底をお願いします。



「鶏肉の生産衛生管理ハンドブック-肉用鶏農場・生産者編-」

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/handbook/attach/pdf/201108-6.pdf>



「鶏肉の生産衛生管理ハンドブック（参考資料）-肉用鶏農場・指導者編-」

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/handbook/attach/pdf/201108-5.pdf>



近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日月
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	台湾	家きん	令和6年8月16日
		メキシコ	家きん	令和6年7月26日
		フランス	家きん	令和6年8月8日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚	令和6年8月12日
				令和6年8月30日

令和6年(2024年)9月1日現在

家畜防疫員のひとこと

人吉・球磨獣医師会／人吉保健所共催による動物フェスタが5年ぶりに開催されます。

期日：令和6年9月23日（祝）
場所：五木村 五木源パーク

お時間がある方はぜひお越しください！！（M.Y）

